

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

September
ISSUE



September, 2023
Volume 137

「一人の力は微力だが、無力ではない」 ～自分にできることを考える～

真っ黒に日焼けした子どもたちが、学校に戻ってきました。教室へ向かう子どもたちのはじける笑顔、廊下や教室から聞こえてくる楽しそうな声から、彼らが充実した夏休みを過ごしたことが伝わってまいりました。保護者の皆様には、夏休み中のお子様の健康や安全管理にご尽力いただき、誠にありがとうございました。新学期、お子様が充実した学びの時間を持てるよう努力して参りたいと存じますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて今回は、夏季休業中に行われた教員研修についてお話しさせていただきたいと存じます。同志社国際学院初等部は、京都府私立小学校連合会に加入しているのですが、その研修会が今年は本校で開催されました。この研修会に認定 NPO 法人テラ・ルネッサンスの創設者・理事の鬼丸昌也さんに講師としてお越しいただいたのですが、その講演内容が大変すばらしく、私の拙い文章で恐縮ですが、皆様と共有させていただきたく存じます。

鬼丸さんは大学生の時にカンボジアに地雷原を訪れ、生活音がないことに衝撃を受けたことから「自分に何ができるのか。」と考え、テラ・ルネッサンスを設立されました。現在はカンボジアの地雷被害者支援をはじめ、ウガンダやカンボジアの元子ども兵の社会復帰支援、ウクライナ避難民の生活支援や、日本国内での平和教育のための講演活動、東日本大震災の被災者支援等、人を助ける活動を精力的に行っておられます。

本校と鬼丸さんとのつながりは約 10 年前にさかのぼります。私が担任をさせていただいておりました当時、保護者の方から「ロハス先生、是非子どもたち、先生方にお話を聞いていただきたい方がいるんです！」と 1 冊の漫画を渡されました。タイトルは「テラ・ルネッサンス～鬼丸昌也さん挑戦」(インフィニティ 2009 年)でした。さっそく読ませてもらったところ、鬼丸さんの活動に心を打たれ「これは是非子どもたちに聞いてもらいたい！」とゲストティーチャーとしてお招きしたのでした。その後、数年にわたり、テラ・ルネッサンスからスタッフを派遣してくださり、お話を聞く機会を持たせていただきました。

彼の人道支援の経験から「必要な支援は様々であり、人によってニーズが違う」ことを痛感されたそうです。まずは思い込みを取り除き、「何ができる？」と考えることが大切であるとお話しされました。加えて「知る」ことの大切さを力

説かれておられました。鬼丸さんが例を挙げてくださったエピソードを、下記に紹介いたします。

平和教育講演会をされた際に、携帯電話に使われているレアメタルが原因で、アフリカで紛争が起き、たくさんの方々が亡くなっていることを知ったある親子は、自分が使っている携帯の材料である金属の輸入先がどこか疑問を持ち、「あなたの会社で使っているレアメタルは紛争地帯からのものですか。」との問い合わせの手紙を携帯会社に送ったそうです。その結果、会社の方が熱心に調べてくださり、紛争地帯からのものではなかったことが判明しました。

とあるお菓子を製作している企業の社長さんが鬼丸さんの講演を聞いた後、自社で作られている製品に使われているカカオが、児童労働で搾取され、安い値段で売られているものではないかと疑問を持ち、フェアトレードで正規のルートを通った材料にすべて切り替えられたそうです。「我々には子どもの笑顔を守る責任がある」とのお言葉とともに。(皆様もご存じの、有名なお菓子のメーカーさんでした。)

普段私たちは「何気なく、悪気なく」生活しています。しかし、その「何気なく悪気の無い」行動が、遠い国で内戦を起こし、人の命を奪っている事実。それをストップするために、私たちには何ができるでしょうか。フェアトレードで販売されている材料を使った製品を買う、材料が紛争の原因になっている物は買わない等、そこには私たちにできるアクションがあるのです。

ウクライナの戦争が始まり、残念なことにその戦いは長引いています。戦争を止めたいけれど、何もできない自分に歯がゆい思いをいたしますが、まずは「知り」、「考え」、そして「実行」すること。鬼丸さんは「私たちは微力かもしれませんが、でも無力ではないんです。」と伝えてくださいました。

DIA の教員もみな鬼丸さんの講演会からポジティブなエネルギーをもらいました。「自分にできること」を積み重ね、平和の使者になっていきたいと思います。

副校長 ロハス 亜紀

認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス
HP : <https://www.terra-r.jp/>



鬼丸 昌也さん



キリスト教教育

9月：調和 September: Harmony

聖書：「旅人をもてなすことを忘れてはなりません。…」

ヘブライ人への手紙 13 章 2 節（聖書協会共同訳）

今夏は時に命の危険を感じるような猛暑が続き、高齢者など体の弱りがちな人にとっては過酷な日々となりました。熱中症のため救急搬送された患者の数は昨年度の 2 倍以上と聞きます。

実は筆者の母もこのうちの一人で、ニュースでも盛んに取沙汰されていた 7 月下旬の最も暑かった時期に自宅のエアコンが故障し、真夜中に 39 度 6 分の熱を出してしまったのです。

幸い熱中症自体は軽症で済み、一晩で退院できることになりましたが、肝心のエアコンが故障したままだったのでそのままビジネスホテルへ移動し、修理の人が来てくれるまでの 5 日間は母と二人、ホテルの部屋で缶詰になって生活していました。

多少の介護は必要なものの日頃は自宅で一人暮らしできている母なのに、環境が変わった途端に自分のいる場所が全くわからなくなり、私が何度ホテルだと説明してもすぐに忘れて不安がるので、とても一人部屋に置いて買い物など行けない状況でした。仕方なく階下で朝食を済ませた後は部屋に戻り、息子夫婦が買い物を届けてくれる夜中まで母と一緒に部屋に待機していなければなりませんでした。

ホテルでは、いざという時に頼れるフロント係の人や食堂で迎えてくれる給仕係の人、バスルームのタオル交換や清掃に来てくれる客室係の人などが存在します。給仕係の人は毎朝笑顔で迎え、母が出入りしやすい席に案内して椅子を引いてくれましたし、清掃係の人は皆、「何か必要なものがありましたら、いつでも言ってください。」と声がけしてから出て行かれました。一日中ほとんど部屋から出られず鬱屈した日々でしたが、このような何気ない気遣いは心に沁みました。

もともとホテルの語源は Hospice であると言われ、11 世紀頃のヨーロッパで修道院が巡礼者の世話をしたのが始まりとされています。日本でも奈良時代、旅人が行き倒れにならないようにと僧侶たちが始めた宿が旅館の起源となっているそうです。

上掲の聖書箇所の記事は、以下のように続きます。

「…そうすることで、ある人たちは、気付かずに天使たちをもてなしました。」

ヘブライ人への手紙自体は新約聖書ですが、これはある旧約聖書の物語に基づく記述になっています。紀元前 4-5 世紀に書かれた旧約聖書物語には、アブラハムという人が暑い真昼に自分たちの家の前（遊牧民なのでテントのことで）を通りかかった 3 人の旅人を、丁重にもてなす様子が描かれています。

「ご主人様、もしよろしければ、どうか僕^{しもべ}のところを通り過ぎて行かないでください。水を少しばかり持って来させますから、足を洗って、木陰でお休みください。またパンを幾らか持って来ますので、元気をつけ、それからまたお出かけください。せっかく僕^{しもべ}の近くを通られたのですから。」（創世記 18 章 3-5 節）

アブラハムは暑い時間帯に砂漠を旅してきた見ず知らずの客人たちをただ気の毒に思い、今自分にできる精一杯のもてなしを提供しましたが、実はこの客人たちは後でアブラハムに重要な告知をする神からの遣いであったのです。

ヘブライ人への手紙では、更にこのように述べられます。

「自分も一緒に捕らえられているつもりで、捕らわれている人たちを思いやり、また、自分も肉体を持っているのですから、虐げられている人たちを思いやりなさい。」（3 節）

私たちの身の周りで、また少し遠くの世界を見渡すと、進んでもてなすべき「旅人」が存在するのではないのでしょうか。



Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓

<お知らせ>

・9月12日（火）おにぎり献金

岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「トルコ・シリア大地震」を覚えて、献金を捧げます。賛同していただける方は、お子様に献金をお持ちください。

委員会活動がもたらすもの

～what student's committee bring～

小学校で実施される委員会活動は、なぜ 5、6 年生が対象なのかご存じでしょうか。

小学校学習指導要領では、「他者と協働」「集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成する」「異年齢の児童同士で協力」「役割を分担」「自主的、実践的」等の言葉がたくさん見られます。つまり、4 年生までにクラスや同学年の人たちと協力することを学べてきているのだから、5 年生からは、学校全体のことを視野に入れ、自分にできることを主体的に考え行動できる力をつけていくことを一般的には目指しているのです。

DIA では、どうでしょうか。

1 年生から UOI において協働型学習を積極的に行っているのも、5 年生に特別な指導をしなくても委員会活動を意欲的に楽しんで取り組んでいます。6 年生も、自然な流れで 5 年生をサポートし仕事を教えてあげたり新しいアイデアを出して来たりします。委員会初日に、委員長、副委員長を決める際には、学年関係なく多くの子が立候補します。担当教員が厳しく監督しなくても、自分達で考えて計画し、役割分担や当番を忘れずに、熱心に取り組む姿が散見されます。仕事がこなせなかったことがあれば、自分達で注意し合って同じ失敗をしないように工夫していますし、予期しないトラブルが起こっても、子ども達だけでサポート体制が出来上がります。Principled, Caring, Communicators 等の Learner Profile を普段から指導していることが根付いていると感じると共に、Student Agency(子ども達の自主性)を授業でも大切にしているからこそ、自然と出てくる態度ではないかと感じます。



更に、活動内容に学習内容を関連付けたり経験を活かしたりすることも、子ども達の力だけでできます。SDGsと関連付けてフードバンクやユニセフへの募金活動を展開したり、放送アナウンスを常にバイリンガルにしたり、チャペルでの全校児童への報告でスライドを使いながらプレゼンテーションをしたり、学習活動から身に付けた子ども達の成長を随所に見ることができます。教員主導ではなく、子ども達からの発信や行動が全校を動かしている姿は、DIA 児童らしいと言えます。



教科横断型の学習が、特別活動である委員会活動にも浸透しており、子ども達の力を発揮する場が DIA にはたくさんあると感じます。委員会活動で生き生きと活動する高学年を 4 年生以下の子ども達も見て、あこがれのようなものを持っていると思います。委員会活動を通した充実感が子ども達の自信になり、そして DIA への帰属意識、同志社としての仲間意識にも着実に影響を与えていきます。ここで培われたものが、将来、子ども達の夢に向かう原動力の一部になってくれればと、願っています。



9月のテーマ「猛暑とSDGs」

今年は例年に増して猛暑が続いていますね。気象庁は全国の広い範囲で「10年に1度程度」の猛烈な暑さになると予報し、専門家は熱中症への警戒を呼びかけています。この夏の猛暑には様々な要因がありますが、その中の1つに「エルニーニョ現象」があります。エルニーニョ現象とは、南米ペルー沖から太平洋赤道海域の日付変更線付近にかけての海面水温が平年より高くなり、その状態が1年ほど継続する現象のことです。エルニーニョ現象はSDGsに密接に関わっています。SDGsの17のゴールの中で、エルニーニョ現象と深い関わりをもっているのはどれだと思いますか。「Goal13 気候変動に具体的な対策を」を思い浮かべる人が多いかもしれません。もちろんGoal13も関わっています。しかし、実は「Goal2 飢餓をゼロに」とも、とても深く関わっているのです。

エルニーニョ現象により東南アジアやオーストラリアで降水量が減ります。そのため、これらの地域では干ばつ、森林火災が発生しやすくなります。それだけではなく、世界的に見ても、作物の収量が減少することがわかりました。自然災害によって農作物の生産量が増えないことで、飢餓や栄養不足が多くなったり、気候変動で農地を失い、食糧危機人口が膨れ上がったりする国がたくさんあるのです。

では、この課題に対して私たちができることは何でしょうか。今月は、「国谷裕子とチャレンジ! 未来のためのSDGs」を紹介します。この本は、SDGsの17のゴールを、「人間」「豊かさ」「地球」「平和」「パートナーシップ」の5つに分類し、それぞれのゴールのポイントや世界と日本の比較、取り組みがわかりやすく解説されています。誰でもできるSDGsも書かれています。この本を読んで、SDGsとは何かを理解し、わたしたちができることに取り組んでみましょう。



9月の主な行事・予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	Unit3(week2)
5	火	
6	水	クラブ club
7	木	入試準備 (午前授業) /Day before preparation for entrance exam (AM hours only class lessons)
8	金	入試/Entrance exam
9	土	
10	日	
11	月	Unit3(week3)
12	火	
13	水	委員会活動/ Students' committee
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日/Respect for Aged Day
19	火	Unit3(week4)
20	水	PYP Planning 午前授業 (AM lessons)
21	木	
22	金	
23	土	秋分の日/Autumnal Equinox Day
24	日	
25	月	Unit3(week5)
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

G3
宿泊学習
Over night
Trip

G6
修学旅行
Over
night
Trip

10月の主な行事・予定

2日～	授業参観
10日	
21日	Sports day (25日予備日)
27日	Halloween